

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3990100012
法人名	医療法人 地塩会
事業所名	グループホーム 神田
訪問調査日	平成 19 年 12 月 19 日
評価確定日	平成 20 年 5 月 19 日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 1月 3日

【評価実施概要】

事業所番号	3990100012		
法人名	医療法人 地塩会		
事業所名	グループホーム 神田		
所在地 (電話番号)	高知市神田字久寿崎2322番1 (電話)088-831-8801		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成19年12月19日	評価確定日	平成20年5月19日

【情報提供票より】(19年11月30日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成	18年	12月	8日
ユニット数	2	ユニット	利用定員数計	18人
職員数	14	人	常勤	6人, 非常勤 8人, 常勤換算 14人

(2)建物概要

建物形態	併設/ <u>単独</u>	<u>新築</u> /改築
建物構造	木造り	
	1階建ての	階 ~ 1階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,700	円	その他の経費(月額)	15,000	円	
敷金	有(円)	<u>無</u>			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無		
食材料費	朝食	300	円	昼食	400	円
	夕食	500	円	おやつ		円
	または1日当たり		円			

(4)利用者の概要(11月30日現在)

利用者人数	17名	男性	1名	女性	16名	
要介護1	5名	要介護2	4名			
要介護3	7名	要介護4	1名			
要介護5		要支援2				
年齢	平均	86.9歳	最低	78歳	最高	96歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	泉山診療所、神田歯科クリニック
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

開設1年目の清潔感のある新しい建物で、季節感を大切にした装飾を配した家庭的なホームである。職員の明るい対応により家族が訪問しやすく、家族の協力が得られやすい雰囲気になっている。2ユニットであり利用者の状態には差があるが、両ユニットとも利用者本位のケアを心がけていることが窺える。利用者の思いを大切にし、毎日の散歩、外出支援、いきいき百歳体操への参加など身体機能維持に努めるとともに、理念である「役割を持ち生きがいのある生活」を実践していることが窺われ、町内会との連携も良く、これからますます地域との関係を深め、利用者が地域で今までの生活を継続できるホームになるという期待感が持てるホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 初回評価につき該当無し。
	②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 各ユニットで職員も含めた話し合いをし、評価に取り組んでいる。
重点項目	③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 事業報告のほか、ホームも参加している老人憩いの家での「いきいき百歳体操」への参加、オールドパワー展への出品、ホームでフラダンスを皆と一緒にしたいという申し入れ、隣接する有料老人ホームのことなど、身近な問題について意見交換されており、今後、地域のホームとして根付いていくための取り組みをしている。
	④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 職員の対応が良いため面会者が多く、家族は意見や相談を言い易い雰囲気づくりができている。また、苦情への対応も記録として残し、今後の参考にしており、ケアの質向上を目指す様子が窺える。ただ、家族はお世話になっているという気持ちがあり、なかなか本音がいえないこともあるので、家族の気持ちを察して、より細やかな対応を心がける事が期待される。
重点項目	④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会との連携が取れており、町内で行っている「いきいき百歳体操」や町内一斉清掃に参加したり、町内の人からフラダンスを教わるなどしている。また、ホームの前で保育園の送迎バスが停まるので、園児との交流があり、気軽にホームを訪れるなど、ほのぼのとした交流がある。散歩に丁度良い距離にスーパーがあり、頻繁に利用することで地域とのなじみも出来、これから地域との関係を更に深めることが期待される。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 職員間で話し合っった独自の理念がある。 <input type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容で地域密着型サービスとしての役割を目指した理念にはなっていない。	○	その人らしさを大切にした理念であるが、今までの生活を継続して、地域で生きるという内容を、理念の一文として追加する事が望まれる。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 毎朝の申し送り時に唱和し、理念についての意識づけがされている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 それぞれが役割をもち、その人らしく生活を続けるという理念に基づいて、居心地の良い場所、そこに居たい場所の提供を目指したケアの実践がなされている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 町内会に参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 町内会で行っている「いきいき百歳体操」や町内一斉清掃に参加したり、町内の人が月1回フラダンスをボランティアで教えに来てくれるなど、地域との交流を積極的に行っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 各ユニットで職員も含めた話し合いをし評価に取り組んでいる。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 開設1年目であり、初めての評価である。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 事業報告と共に、参加者から隣接する有料老人ホームについての質問や要望を受けるなど、双方向的な会議となる配慮がされている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 今回初めての評価なのでこれからの取り組みになる。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 市の担当者とは入居状況など電話での相談はあるが、未だ交流には至っていない。	○	ホームから積極的に市に出向き、ホームの実状報告、運営推進会議で出た問題点の相談、ホーム見学の要請など活発な交流をすることが望まれる。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 面会者は多く、ほぼ毎日来所される人もいる。来訪時には利用者の状況報告などを行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 ホーム便りはないが、個別に写真などで暮らしぶりを伝えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 電話などで連絡報告されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 金銭の自己管理をしている人が7名、その他の利用者は必要な時にホームが立て替えて面会時に精算しており、金銭の使途について明示されている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 家族会はないが、行事の時を利用して不定期に家族出席の親睦会が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 苦情への対応、課題を検討した内容を記録している。	○	今後、親睦会を家族会に発展させることが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 開設当初少し異動があったが、現在は落ち着いている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 研修の年間計画を立て、パート職員にも研修参加の機会がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 月1回のミーティングで必要と思える研修内容の報告をしている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 高知県宅老所・グループホーム連絡協議会に加入している。 <input type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 法人内のグループホームとの交流はあるが、他のグループホームとの交流はこれからである。	○	他のグループホームと交流することは、日々のケアのヒントを得るなど、サービスの質の向上に結びつくため、他のグループホームとの相互研修会など、活発な交流に取り組まれることが期待される。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。 アセスメントや生活歴の把握はなされているが、現在のアセスメントシートでは身体機能面に重点が置かれ、精神面でのニーズがつかみにくいので、工夫が望まれる。また、生活歴を充実させる取り組みも期待する。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 見学や体験が成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。 基本的に管理者とユニットリーダーが面接し、現場の職員の意見も聞いている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 車椅子の人も自分の食器を下膳し、手の届く洗面台を拭くなど、自分でできることを大切に支援がされている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 利用者がいつのまにか台所に立ち、馴れた手付きで野菜切りをしたり、和やかに会話しながらホールで洗濯物たたみをしたり、自然体での生活が見られる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。 生け花の免許を持っている人に正月の花を生けてもらったり、魚をさばくのが得意な人に包丁研ぎを教わったり、その他料理や昔の風習を教わったり、色々な場面がある。</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 利用者が週2回職員同行で入院中の御主人のお見舞いに行ったり、立位が困難な人のお米とぎがしたいという希望を職員が介助して支援するなど一人ひとりの思いを大切にすることが窺える。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。 本人の状態や反応を見て思いを把握したり、家族などから情報を得ることに努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 3か月に1度の見直し時にモニタリング、カンファレンスを行っている。</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 担当者会で3か月に1回見直しを行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 入居時には1か月のプランを立て、1か月後に見直して状況に応じて3か月ごとのプランにするなど、個別の期間設定がされている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	<input type="radio"/> 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながら生活が継続ができるように努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	<input type="radio"/> かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 家族の希望する医療機関での受診ができる。また、月2回の定期往診も実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 個別の記録に受診結果が記録され情報の共有ができています。		
19	47	<input type="radio"/> 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 <input type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。	○	グループホームの課題として、今後前向きに検討することを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉がけや対応に配慮している。 穏やかな言葉がけで、利用者の尊厳を傷つけるような対応は見られない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 事業所に個人情報保護法のマニュアルがあり、職員は理解している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 散歩は毎日行うなど、利用者のその日にしたいことの把握ができています。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 急に買い物に行きたいという利用者がいればその希望にあわせて対応している。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 お米とき、野菜切り、盛り付け、配膳、下膳など役割を分担して、職員と一緒に食事作りや後片付けをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 職員はさりげない介助をしながら利用者と同じものを一緒に食べている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 利用者の希望にあわせて夕食後や就寝前の入浴も実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 入浴拒否の人には職員のチームアプローチによりその人に合わせた工夫で対応している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 花を活ける人、日記をつける人、写経をする人、新聞を読む人など、それぞれの楽しみごとを把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 スーパーへ買い物に出かける時に近くの喫茶店に行ったり、なじみの美容院に職員同行で出かけるなどしており、月に1～2回は利用者のなじみの場所を訪問している。 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 車椅子での散歩や買い物などを行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 各ユニット毎に季節の花見や牧野植物園の散策などに出かけている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 年1回消防署との総合防災訓練を実施しているが、地域や町内会との訓練には至っていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常食・備品を準備している。 自動火災報知機、スプリンクラーなどを設置しており、定期点検も実施している。また、非常食、備品の備えもある。	○	防災設備は整っているが、いざという時には地域の人々の協力が不可欠であるので、地域住民の協力の下、避難訓練を実施することを期待したい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 チェック表で把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 刻み食にしたり、糖尿病の人への食事量を調整したりして、栄養バランス等について配慮している。 <input type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 今まで専門家のチェックを受けていない。	○	栄養バランスに配慮しているが、母体病院の栄養士等の専門的なチェックが望まれる。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 一般家庭で使用されている家具が配置され、居心地良く過ごせる配慮が見られる。 <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 適度な飾り付けで家庭的な雰囲気である。 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 季節の花やイベントの飾りなどを配し、季節感を感じさせる装飾になっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置おくなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。 居室によって差があるが、その人らしさを感じさせる居室作りとなっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。 職員のアイデアで居室作りがなされている。		